

横須賀市中小企業景況レポート

第 36 号 (令和 3 年 10 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238 - 8550 横須賀市小川町 11
電話 046 - 822 - 9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3 か月に 1 回発行しています。

【市ホームページ(下記)からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

調査対象：市内中小企業

調査企業数：167 社 (うち、かながわ信用金庫 + 湘南信用金庫 調査 154 社)

調査期間：前期・・・令和 3 年 4 ~ 6 月の景況感 (調査時点 令和 3 年 6 月 1 日)

今期・・・令和 3 年 7 ~ 9 月の景況感 (調査時点 令和 3 年 9 月 1 日)

次期・・・令和 3 年 10 ~ 12 月の景況感 (調査時点 ")

調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り

業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業

集計方法：DI 値算出による (次ページに DI 値の説明あり)

景況及び 4 項目の調査結果 (全業種)

* DI 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期の DI 値を記載

全業種の景況感は、前期の 24P から 6P 改善し、【 18P】となりました。

今期の景況感は、製造業【 3P】、建設業【 18P】、卸・小売業【 6P】がそれぞれ 21P、10P、13P と大幅に改善しましたが、不動産業【 26P】、サービス業【 47P】は、それぞれ 13P 悪化しました。

項目別では、すべての項目でほぼ横這いの状況です。

新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中、全業種の景況感は、2 期連続で改善しているものの、昨年同期 (令和 2 年 7 月 ~ 9 月) との景況感比較は、「悪い」が 4 割で、引き続き厳しい状態にあります。

DI 値・・・良い(多い)、変わらない(普通)、悪い(少ない)の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い(多い)等の構成比(%) - 悪い(少ない)等の構成比(%)を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く(好況)、マイナス値が大きいほど景況感が悪い(不況)と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。(マイナスは 表示)

良い (15P以上)	やや良い (6P~14P)	変わらない (5P~5P)	やや悪い (6P~14P)	悪い (15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 3P <変わらない> → 】 (前期比 21P)

売上額【△3P】、収益【 21P】が、それぞれ 21P、14P と大幅に改善し、それに伴い景況感も上昇しました。依然として厳しい状況ですが、やや改善の傾向を見せています。次期は、すべての項目で横ばいの見込みです。

事業者の主な声

- ・前年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅に減少していたが、当期は、受注が増加傾向に転じている。
- ・前年同期は、コロナ禍の影響で自動車メーカーの減産によるライン停止等もあったが当期は、受注状況も良好である。

(2) 建設業 景況感 【 18P <悪い> ↓ 】 (前期比 10P)

厳しい状況が続く中、前期と比べ売上額【 21P】、資金繰り【 12P】が、それぞれ 13P 改善しました。しかし、雇員人員【 45P】は、14P 悪化しました。次期は、売上額と収益が改善する見込みです。

事業者の主な声

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で先延ばしとなっていた現場が動き出していると共に、新たなテナント改修工事などの受注が継続的にある状況から、コロナショックからの巻き返しが当面続く見込み。
- ・昨年は、コロナの影響によりハウスメーカーや工務店からの受注が完全ストップしたため大幅な売り上げ減少となった。今年は、新規取引先から安定した受注もあり、増加となっている。

(3) 卸・小売業 景況感 【 6P <やや悪い>  】 (前期比 13P)

前期と比べ景況感は改善していますが、資金繰り【 12P】が8P悪化しました。
次期は、収益が改善しますが、その他の項目は横這いの見込みです。

事業者の主な声

- ・飲食店休業の影響を受け消費量が大幅に減少しており、従業員の労働時間短縮等の経費圧縮を行いながらの状況が続いている。
- ・新型コロナウイルス蔓延から1年半が経過し、受注については回復傾向にあるが、依然として予断を許さない状況が続いている。
- ・スーパーへの卸が売り上げの7割を占め、巣籠需要の高まりから高価格帯の商品が好調であった。

(4) 不動産業 景況感 【 26P <悪い>  】 (前期比 13P)

売上額【 26P】、収益【 26P】が、それぞれ13P、26Pと大幅に悪化し、景況感も下降しました。

次期は、売上額、収益が改善する見込みです。

事業者の主な声

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が続き、賃貸物件(店舗)の空きが埋まらない状況である。
- ・回復傾向にあったが、緊急事態宣言再発令後は物件相談の件数は変わらないものの、成約件数は減少した。緊急事態宣言の延長も検討されていることから、顧客の多くは外出を控えるため、成約件数は現状程度と予想。

(5) サービス業 景況感 【 47P <悪い>  】 (前期比 13P)

前期と比べ、売上額【 38P】、収益【 56P】、資金繰り【 41P】が、それぞれ22P、20P、18Pと大幅に悪化しましたが、雇用人員【 6P】は、14P改善しました。

次期は、すべての項目で改善する見込みです。

事業者の主な声

- ・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行したことも大きく起因し、酒類の提供禁止で大幅に落ち込んだ。
- ・緊急事態宣言に係る酒類提供自粛により来店客数が減少し、昨年同期以上の落ち込みとなっている。テイクアウト等を行うも伸び悩んでいる。協力金等により何とか事業を継続している状況。宴会が普通に行える状況になるまで、本格回復は難しい。

DI値 調査結果



前・・・前期 令和3年4月～6月の景況感（調査時点 令和3年6月1日）
 今・・・今期 令和3年7月～9月の景況感（調査時点 令和3年9月1日）
 次・・・次期 令和3年10月～12月の景況感（調査時点 令和3年9月1日）

業種別調査企業数(回 業種別調査企業数（回答数）

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	173	37	32	53	15	36
今期	167	38	33	47	15	34
次期	167	38	33	47	15	34

単位：ポイント

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	21	19	20	19	29	29	19	12	21	23	28	21	20	7	0	22	9	15
変わらず	34	44	52	38	39	42	34	58	55	35	38	58	47	60	87	22	35	41
悪い(B)	45	37	28	43	32	29	47	30	24	42	34	21	33	33	13	56	56	44
DI値(A) - (B)	24	18	8	24	3	0	28	18	3	19	6	0	13	26	13	34	47	29
今 - 前 / 次 - 今	6	10		21	3		10	15		13	6		13	13		13	18	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	23	19	17	19	26	24	13	12	21	28	26	17	20	7	0	31	12	15
変わらず	33	44	55	38	45	47	40	55	49	29	38	62	47	60	93	22	38	44
悪化(B)	44	37	28	43	29	29	47	33	30	43	36	21	33	33	7	47	50	41
DI値(A) - (B)	21	18	11	24	3	5	34	21	9	15	10	4	13	26	7	16	38	26
今 - 前 / 次 - 今	3	7		21	2		13	12		5	6		13	19		22	12	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	16	10	13	11	18	18	9	3	15	21	17	13	27	7	0	17	0	9
変わらず	41	48	55	43	43	48	50	61	52	37	43	64	46	60	87	30	44	44
減少(B)	43	42	32	46	39	34	41	36	33	42	40	23	27	33	13	53	56	47
DI値(A) - (B)	27	32	19	35	21	16	32	33	18	21	23	10	0	26	13	36	56	38
今 - 前 / 次 - 今	5	13		14	5		1	15		2	13		26	13		20	18	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	6	6	5	11	13	8	3	0	0	4	2	2	0	0	0	8	12	12
適正	69	66	69	62	53	63	63	55	55	77	77	75	80	80	80	64	70	76
少ない(B)	25	28	26	27	34	29	34	45	45	19	21	23	20	20	20	28	18	12
DI値(A) - (B)	19	22	21	16	21	21	31	45	45	15	19	21	20	20	20	20	6	0
今 - 前 / 次 - 今	3	1		5	0		14	0		4	2		0	0		14	6	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	10	7	8	11	16	18	3	3	6	15	9	6	13	7	7	8	0	3
支障がない	67	68	67	70	55	56	69	82	73	66	70	73	74	86	86	61	59	56
苦しい(B)	23	25	25	19	29	26	28	15	21	19	21	21	13	7	7	31	41	41
DI値(A) - (B)	13	18	17	8	13	8	25	12	15	4	12	15	0	0	0	23	41	38
今 - 前 / 次 - 今	5	1		5	5		13	3		8	3		0	0		18	3	

参考 昨年同期と現在の景況感比較(回答155社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	24社	15%	21%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	69社	45%	39%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	62社	40%	40%
DI値(A) - (B)		25P	19P



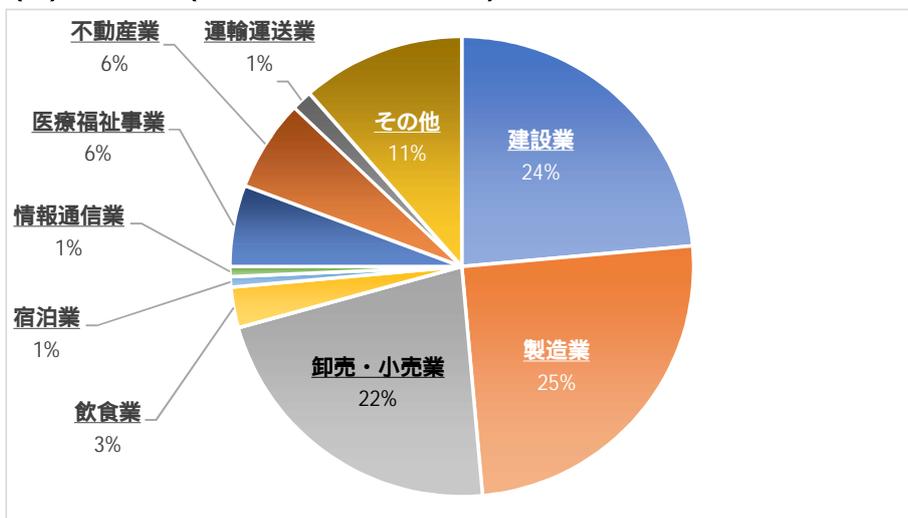
【特別調査(年1回)】

回答企業数 140社

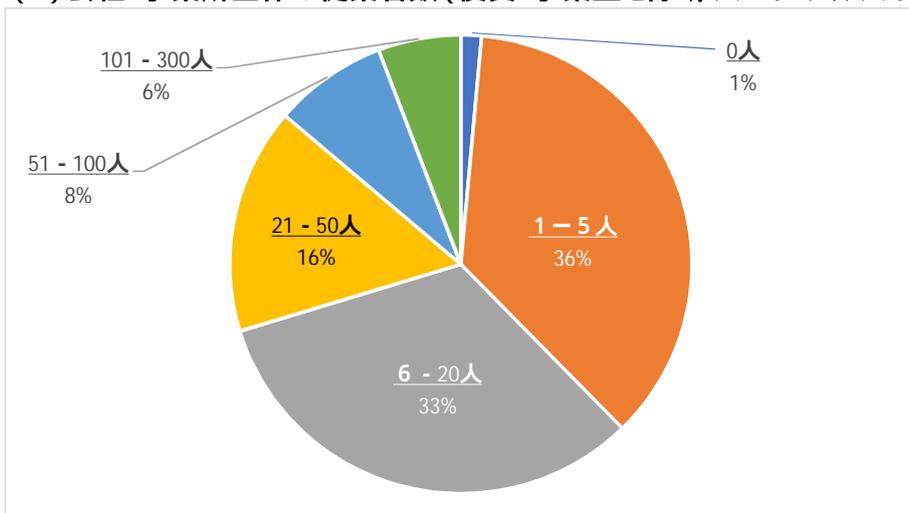
経営状況や経営課題、必要な支援策などについてお伺いしました。

1. 基本属性

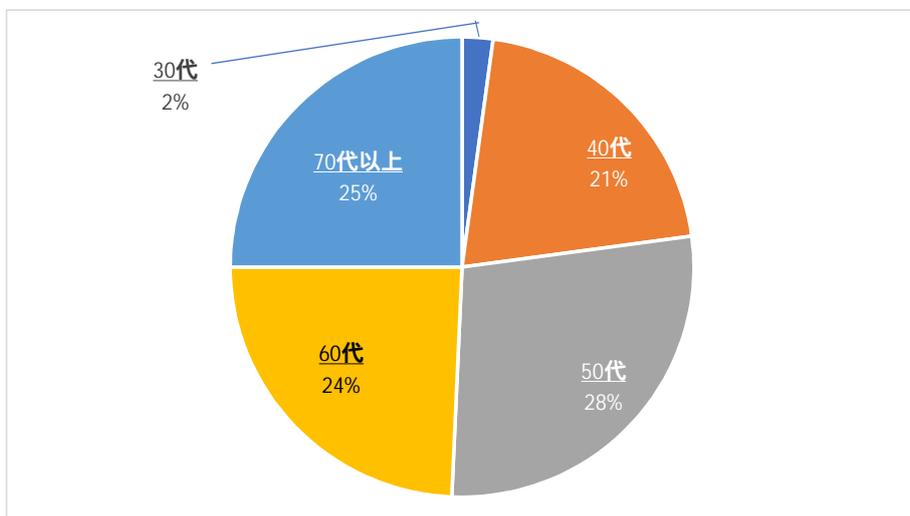
(1) 主な業種(売上高の最も高いもの)



(2) 会社・事業所全体の従業者数(役員・事業主を除く。パート・アルバイトは含む)

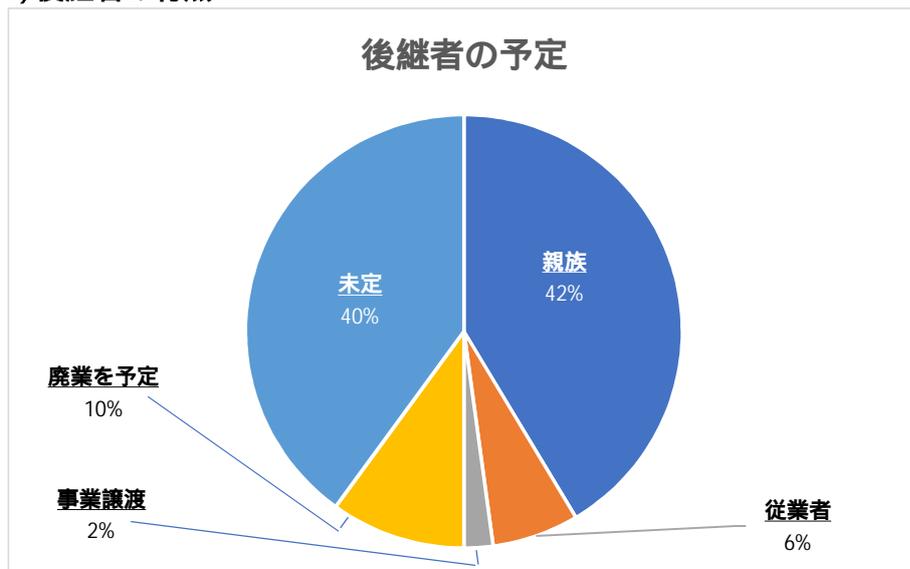


(3) 経営者、または事業主の年代



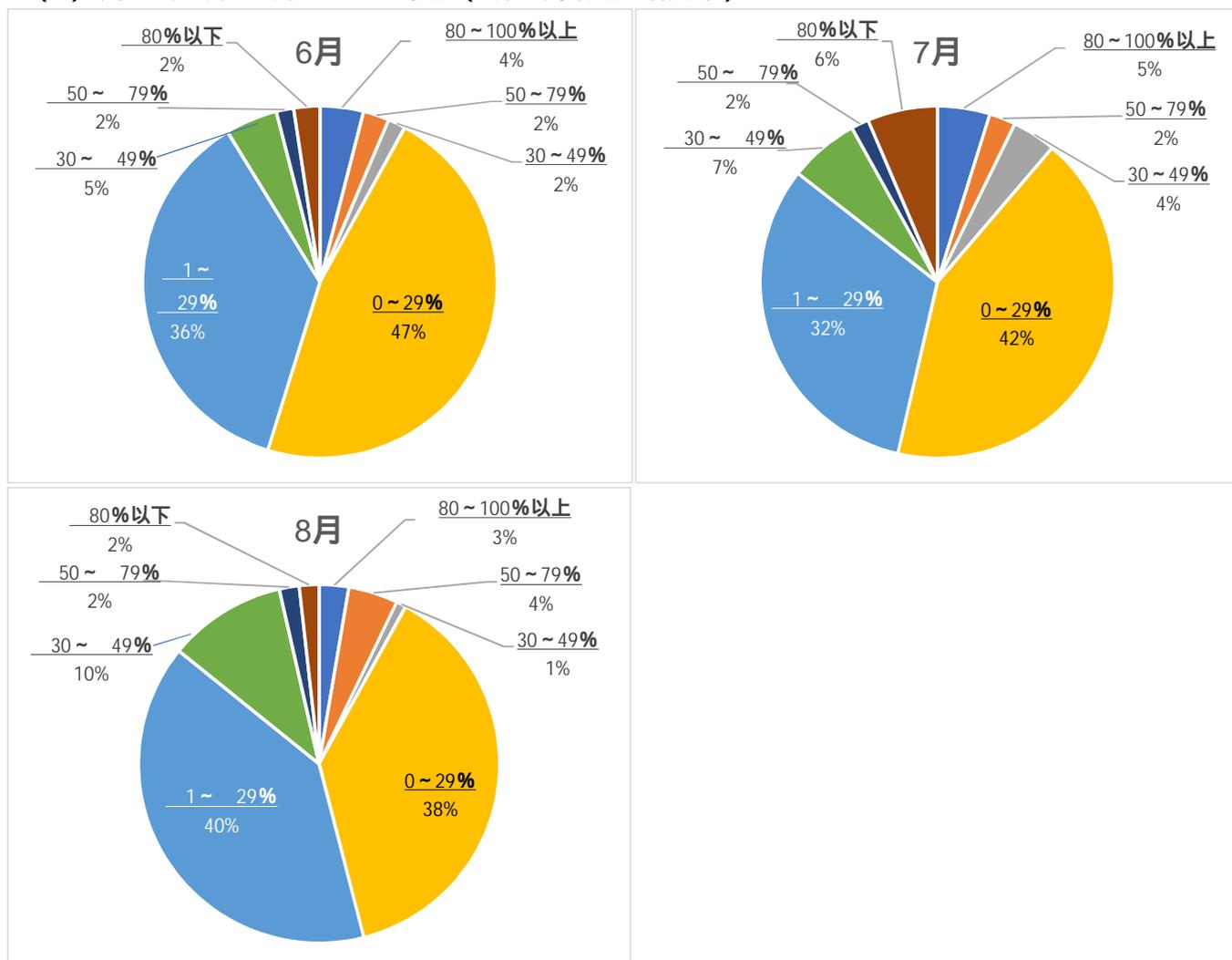
2. 事業承継

(1) 後継者の有無

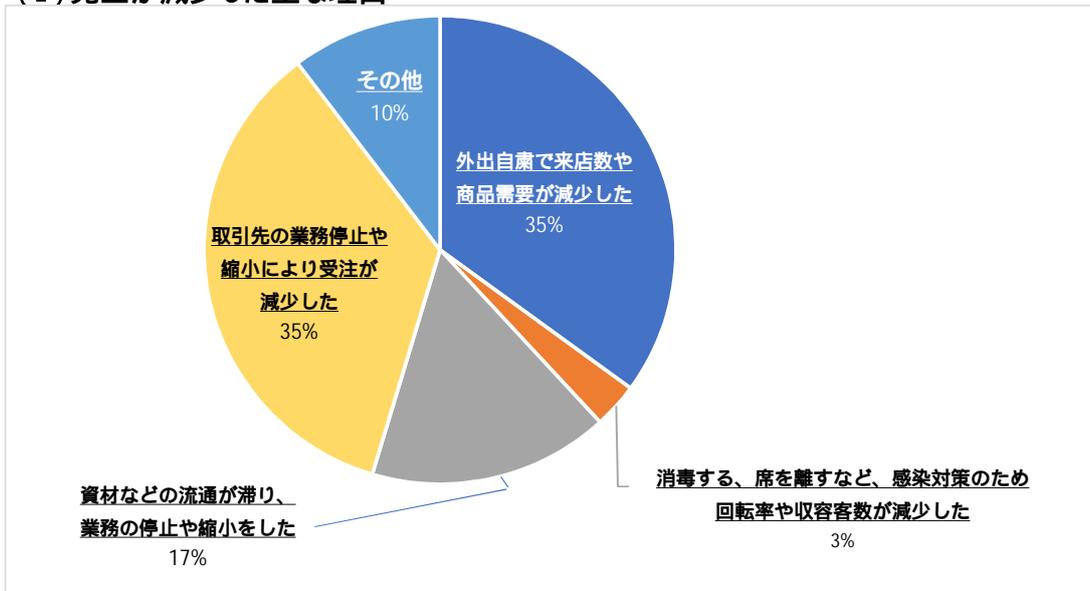


3. 経営状況

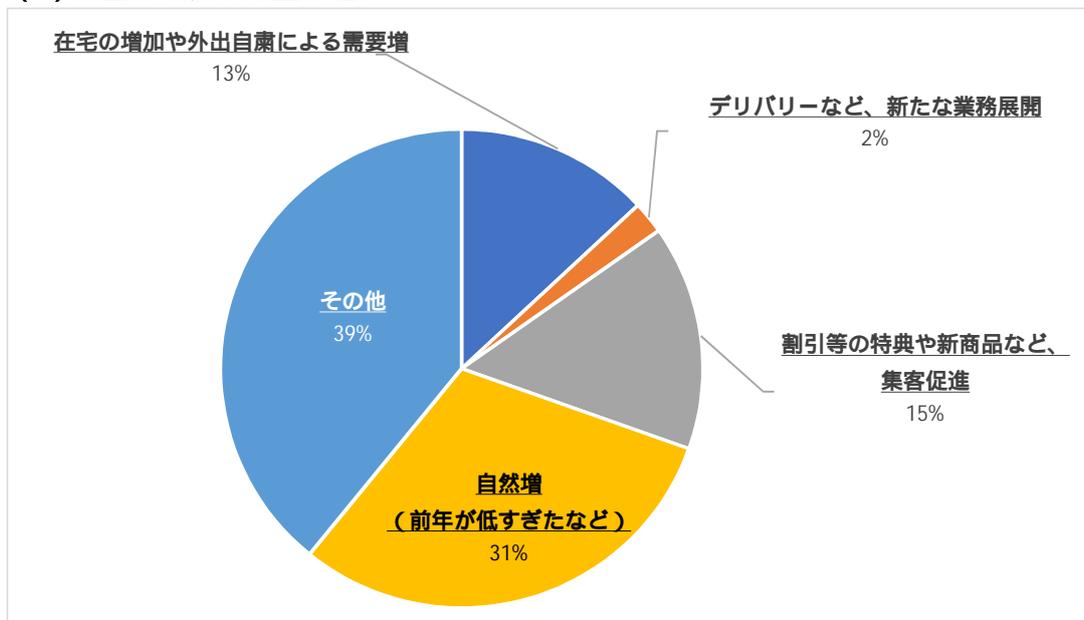
(1) 令和3年6月～8月の売上の状況(対前年同期比増減率)



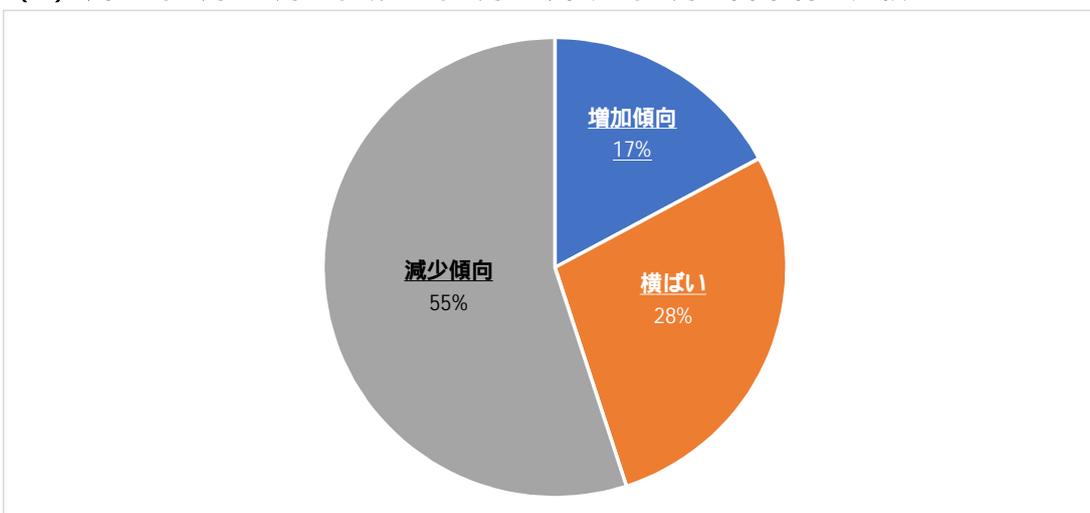
(2) 売上が減少した主な理由



(3) 売上が増加した主な理由

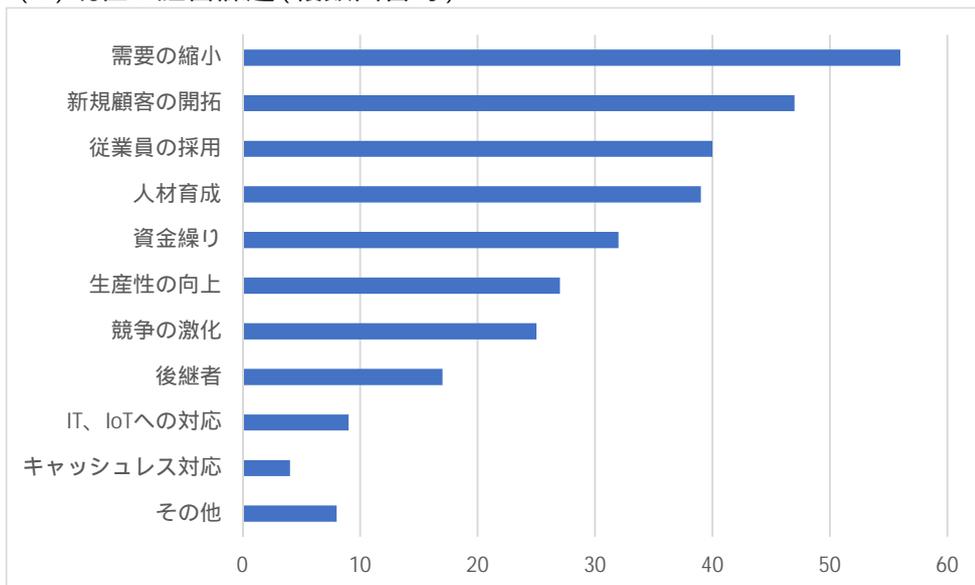


(4) 令和3年4月～6月と平成31年4月～令和元年6月の営業利益比較

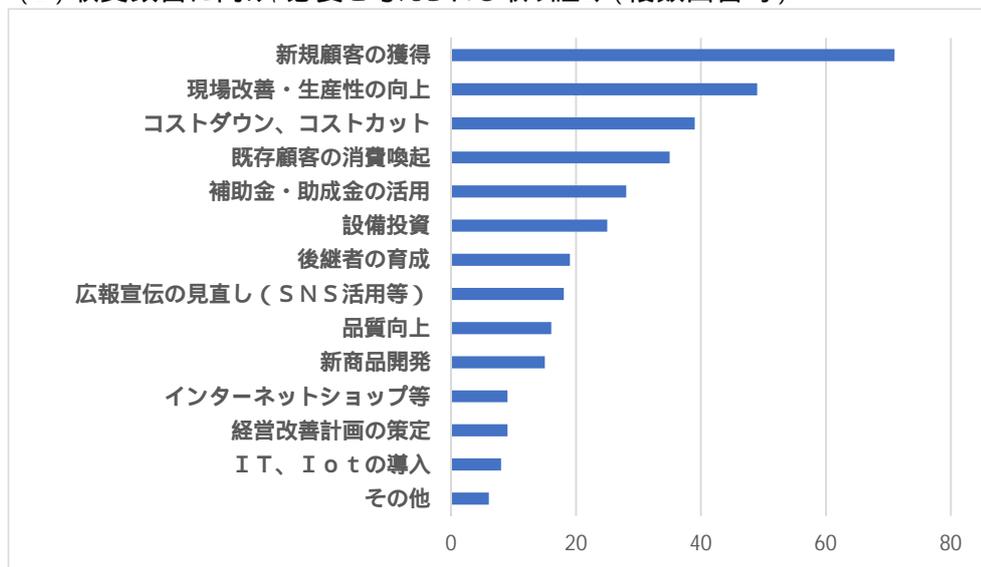


4. 経営課題

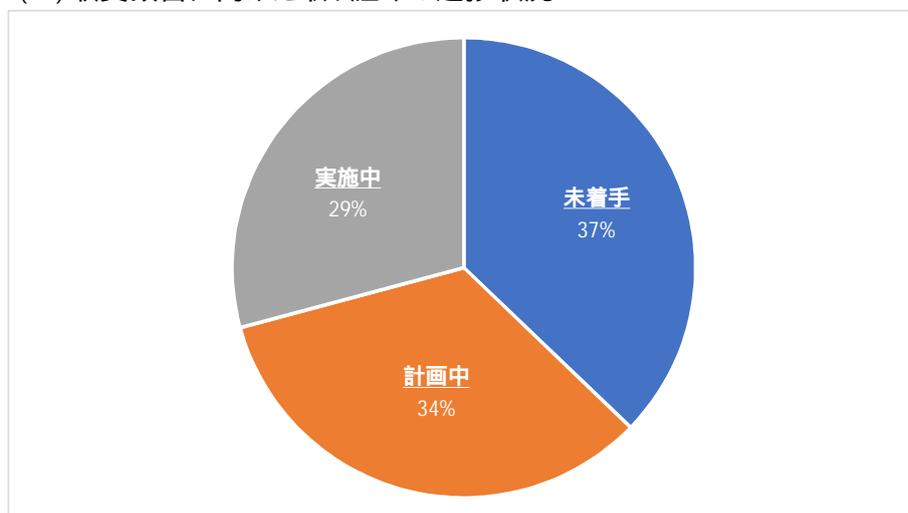
(1) 現在の経営課題(複数回答可)



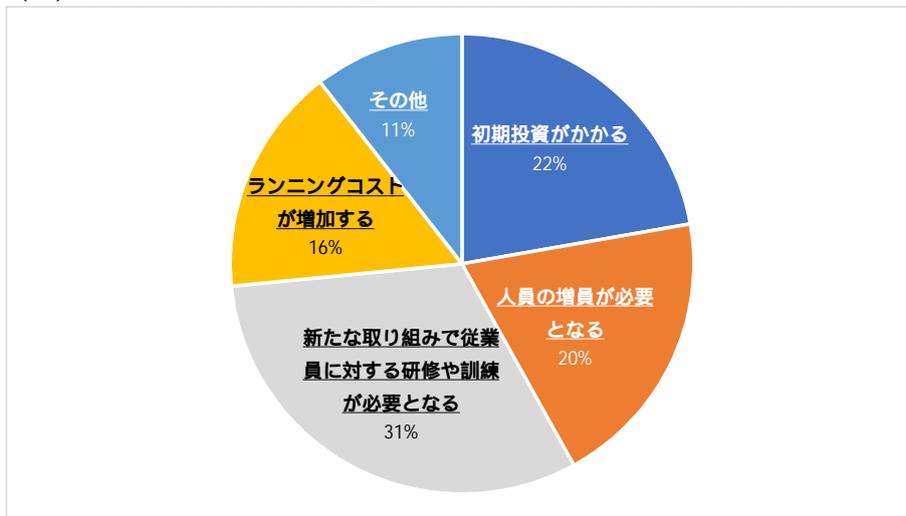
(2) 収支改善に向け、必要と考えられる取り組み(複数回答可)



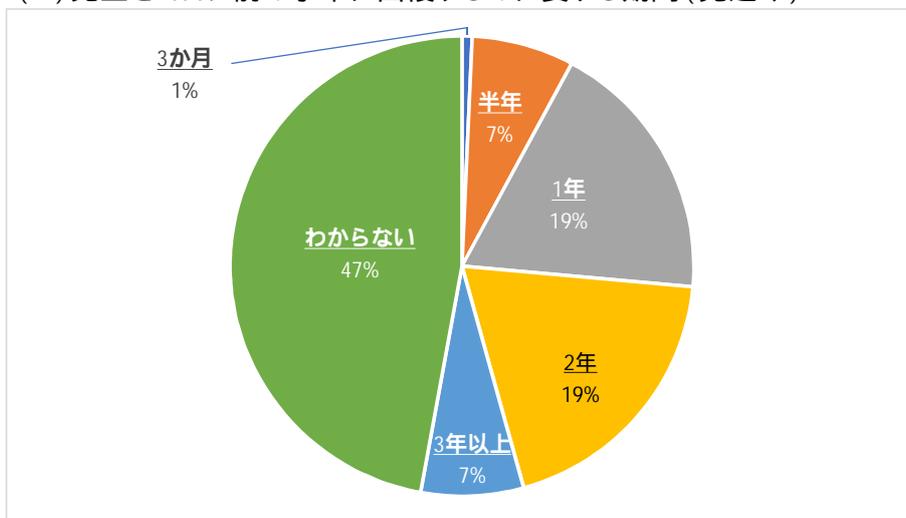
(3) 収支改善に向けた取り組みの進捗状況



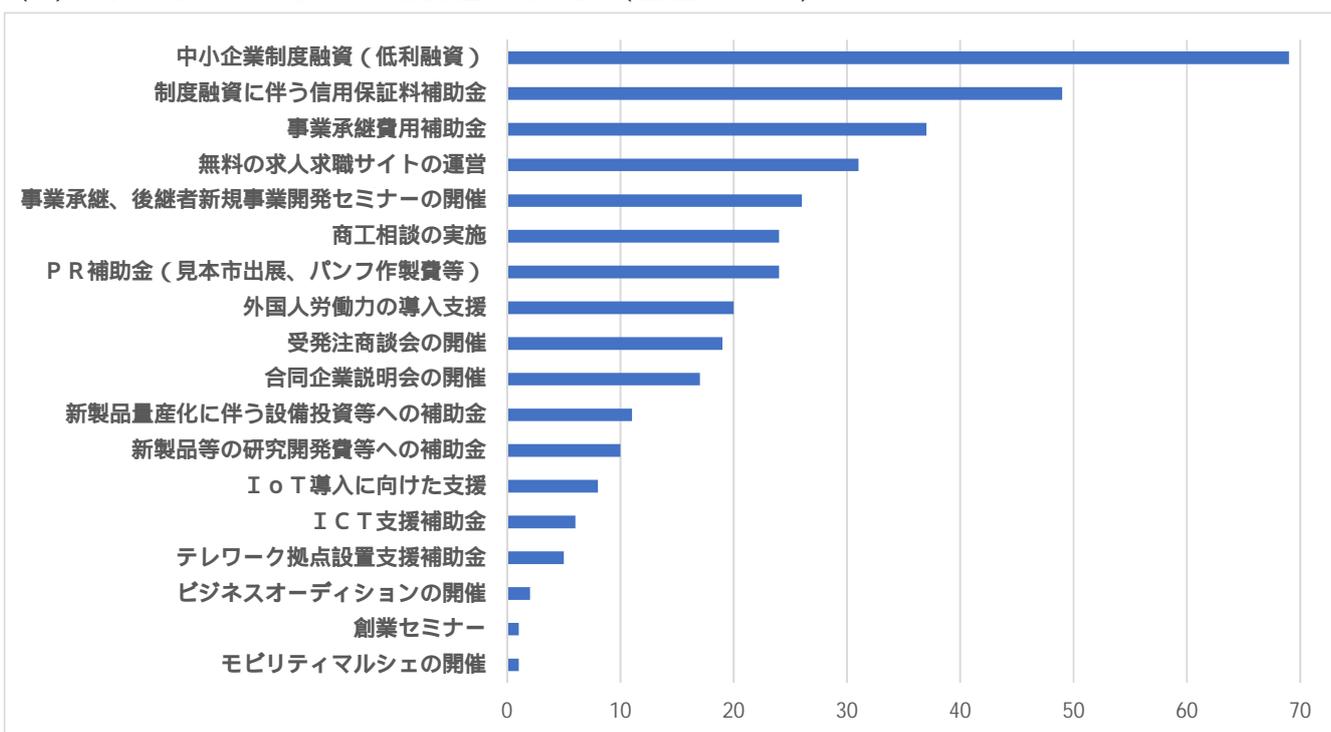
(4) 収支改善に向けた取り組みを行うにあたり支障になっていること



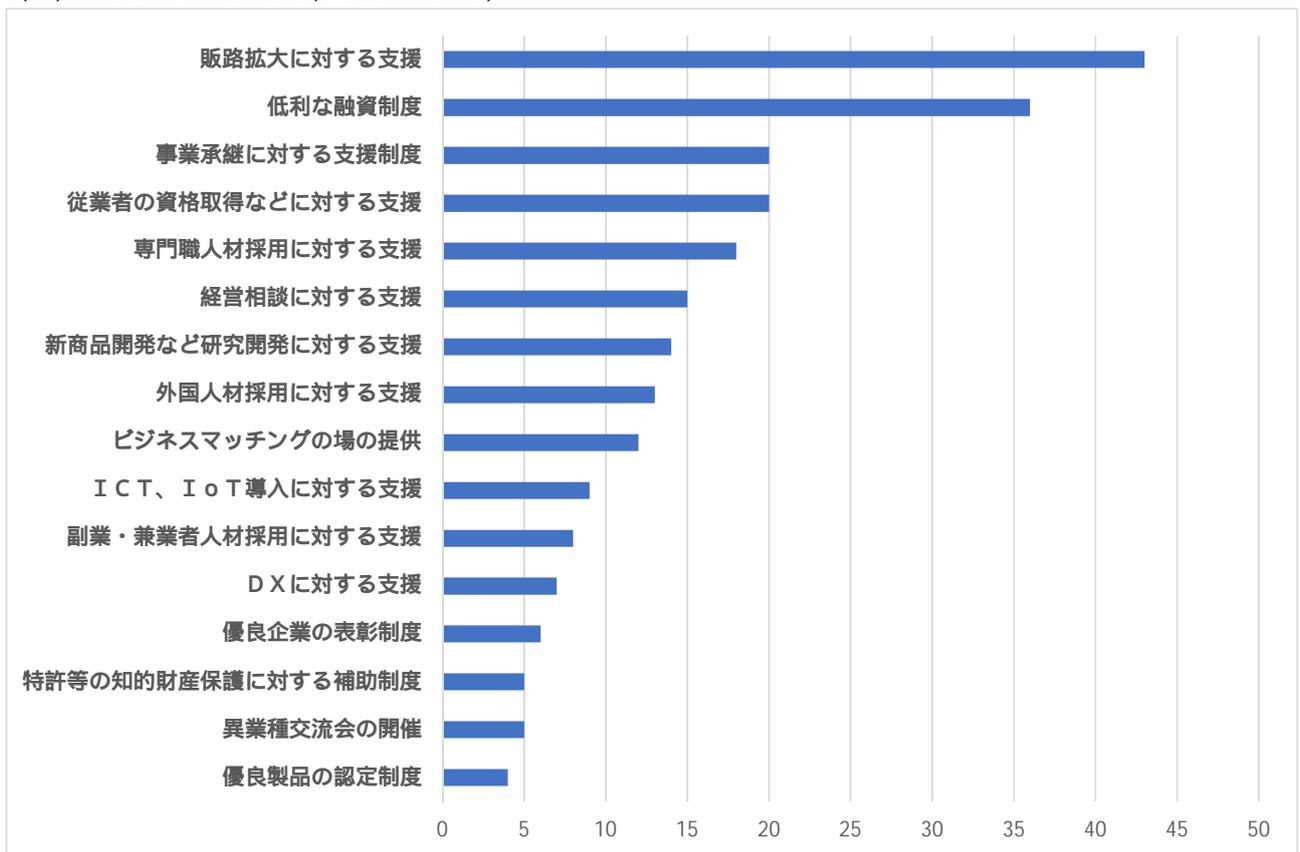
(5) 売上をコロナ前の水準に回復するのに要する期間(見込み)



(6) 市が実施している事業で、必要性の高いもの(上位5つまで)



(7) 支援が必要な施策(上位3つまで)



(8) 中小企業振興について、市に行ってほしい、またはさらに充実してほしい施策

- ・ 社員向けの教育訓練・研修・セミナー受講での助成金制度
- ・ 横須賀市発注の工事を市内業者に発注するような仕組み作り
- ・ 実態に伴う補助金、助成金の強化
- ・ 地元企業への固定資産税や消費税などの減税
- ・ M & Aで新規事業を行うための銀行等金融機関以外からの情報
- ・ 採用に関しての情報提供(市内高校との繋がり)
- ・ 外国人労働者の導入支援